当センターの放射線療法について

がん治療について

がんを治す、良くする治療は手術だけではありません。放射線治療は、ご年齢や合併症に関わらずほとんどの方がお受けいただける負担の少ない治療法です。前立腺がんなどでは手術と同等の効果が得られ、手術が適さない患者さんのがんを治癒させることもできます。いまや、世界のがん患者さんの半数以上が受けている世界標準のがん治療ですが、日本ではその利点が充分に知られていないのは残念です。

がん治療の３本柱

当センターの放射線療法

悪性脳腫瘍、頭蓋内良性疾患（髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、脳動静脈奇形）の他、乳がん、前立腺がん、脳腫瘍、肺がん、食道がん、頭頸部がん、直腸がんなどのあらゆるがんに対応いたします。

ご紹介いただいた主治医の先生のご診療を継続いただきつつ当センターで放射線治療を担当させていただくことを基本としていますが、当院での手術や薬物療法との併用による集学的治療も可能です。セカンドオピニオンやがん相談も行っていますので、がん治療に関してお困りのことがありましたらご相談下さい。

治療方針を決定し、患者さんの治療を計画するのは、放射線治療を専門とする放射線腫瘍科の医師です。治療線量や線量計算の精度保証は、医学物理学の専門スタッフが行います。日々の照射には、診療放射線技師があたり、質の高い安心な治療をご提供いたします。

【ご予約方法】

ご紹介いただく先生･医療機関は事前に患者支援センターへご連絡をお願いします。

患者さんの待ち時間を短縮し、適切な診療を行うため、原則として初診患者さんは予約制とさせていただきます。円滑に放射線療法を行うため、主治医からの診療情報提供書や資料をご持参いただきますようお願いいたします。

受　　付：8:45～11:30、13:00～16:30
診療時間：9:00～17:00

患者支援センター　直通：017-757-8785

【来院方法(交通機関)】

- ＪＲをご利用の場合
  奥羽本線新青森駅下車、西口を出てトヨタレンタカーの側道を北に向かうと当院がございます。南口玄関よりお入りください。
- 自家用車をご利用の場合
  病院南側、提携駐車場(D&Gパーキング)をご利用ください。
- 無料送迎バスをご利用の場合
  「後潟/奥内/沖館方面」「奥内/油川/新城方面」「大野/浪館/三内方面」「幸畑/松原/古川方面」の４路線の無料送迎バスを運行しております。曜日により運行が変わりますので、事前に病院ホームページでご確認ください。

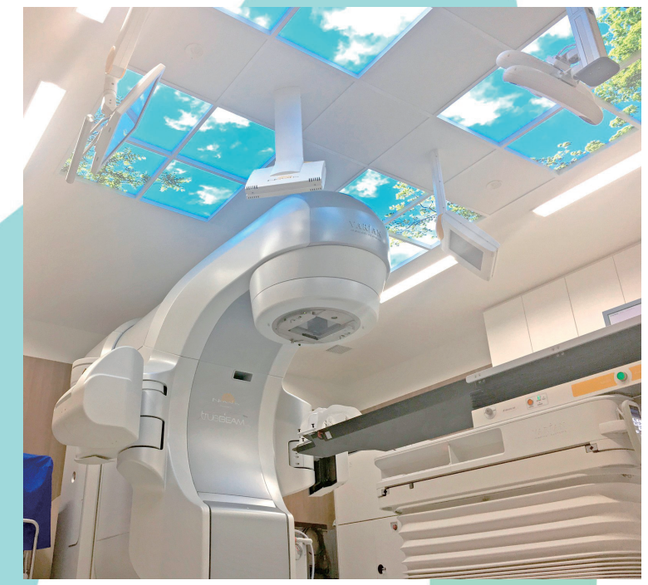
医療法人雄心会　青森新都市病院
理　事　長　伊藤 丈雄
院　　長　末綱　太

所　在　地：〒038-0003 青森県青森市石江3丁目1番地
電話番号：017－757－8750（代表）
ＦＡＸ：017－788－9901
ホームページ：http://aomorishintoshi-hp.yushinkai.jp

医療法人 雄心会
青森新都市病院

高精度放射線治療センターのご案内

— High-Precision Radiation Therapy Center —



医療法人雄心会
青森新都市病院　高精度放射線治療センター

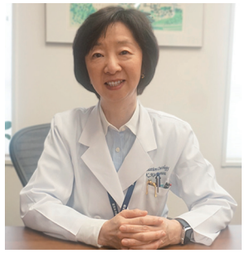
医療法人 雄心会

ご挨拶

青森新都市病院は、2017年5月1日に開院し、5月8日より外来診療を開始いたしました。その目標の一つとして最新の医療設備での質の高いがん医療の提供を掲げております。

がんの放射線治療は世界のがん患者さんの半数以上が受けているがんの３大治療法の一つですが、日本ではその適切な利用が遅れています。青森市でも適切な放射線治療を施行できる施設が限られているという問題がございました。

当院の放射線治療は世界最高水準の装置を導入し、東京女子医科大学から教授を始めとする放射線治療専門医の派遣と、実績のある医学物理士、診療放射線技師で、高精度治療を高い技術水準で受けていただくことができます。



唐澤 久美子
高精度放射線治療センター長

医療法人雄心会　青森新都市病院 高精度放射線治療センター

- 放射線腫瘍科（非常勤医師）
  唐澤 久美子　河北総合病院　放射線腫瘍科　部長
  橋本 弥一郎　東京女子医科大学 医学部 放射線医学講座
  放射線腫瘍学分野　教授･基幹分野長
- 放射線治療科
  富永 匡顕　（医学物理士）
  金井 貴幸　（非常勤医学物理士）

医療法人 雄心会

放射線療法

放射線療法とは？

放射線療法とは、患部に放射線をあて病気（がんなど）を治療する方法です。100 年以上の歴史があり、世界中のがん患者の半数以上が受けています。臓器の働きと形態を温存して治療できるので、手術に比べ、身体への負担が少ない治療といえます。

放射線療法は、病気の細胞が正常な細胞より放射線に弱いことを利用していますが、正常な細胞のダメージを抑えるために、少しずつ分けて行う場合があります。効果は徐々にでてくることが多く、通常、効果判定は治療後数か月経ってから行います。

外部照射

外部照射装置（リニアック）を使って、身体の外から患部に放射線を照射する方法です。治療には主にエックス線を使用し、患者さんはCT撮影の時と同じように治療台に横になっているだけで数分で治療が終わります。多くの場合は繰り返し数週間行います。当センターで行われる放射線療法は外部照射法です。

※放射線療法には他に、小線源治療やラジオアイソトープ内用療法がありますが、当センターでは実施しておりません。この治療が必要な場合は、放射線腫瘍担当医から説明の上、治療可能な医療施設へ紹介いただけます。

当センターでの放射線療法の一例

放射線療法の線量と回数（照射期間）は対象と状態によって異なります。外来での通院治療を基本としますが、場合により入院が必要となります。

脳　腫　瘍	3cm 以下程度の小さい腫瘍はピンポイント照射で1～3回 比較的大きな転移性腫瘍はピンポイント的に1～２週間 悪性脳腫瘍は３～６週間 髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫などの良性腫瘍や脳動静脈奇形にも対応します
乳　が　ん	乳房部分切除後の乳房照射は16回あるいは19回（4週間） 乳房全切除術後の領域照射は25回（5週間）
前立腺がん	前立腺に28回（6週間）
膀 胱 が ん	膀胱に25～30回（5～6週間）
肺　腫　瘍	３cm以下の孤立性肺腫瘍は４日間 進行肺癌では30回（6週間）
膵 臓 が ん	膵臓腫瘍に28～30回（6週間）
肝　腫　瘍	孤立性肝腫瘍は定位照射で1～2週間
頭頸部がん	6～7週間(2グレイを30～35回)
転移性骨腫瘍	2週間(3グレイを10回)
そ　の　他	ケロイド、膵臓がん、全脳　など

放射線療法の手順

診　察（治療方針決定）→ **治療準備**（治療計画）

■ がんの診断がついていることが前提です。

↓

治療前確認（１日～３日）

■ 治療方針通りの放射線照射ができるか検証作業を行い、安全性を確認します。

← **放射線照射**（１日～２か月）

↓

■ 治療期間中は、定期的に診察し有害反応の対処などを行います。

経過観察（２～５年）

← **治療終了**

■ 治療終了後の定期診察で効果と有害反応の経過を拝見し、対処します。

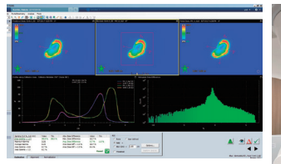
放射線療法（外部照射）の実際

最先端の治療装置と優れた技術力

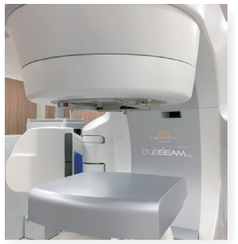
脳腫瘍手術のナビーゲーションシステムを手がけるブレインラボ社が開発した、患者セットアップシステム（Exac Trac）と、世界最大手のリニアックメーカー、バリアンメディカルシステムズ社のTrueBeam™ STxのコラボで生まれた最先端最新鋭放射線治療装置。患者のセットアップ、腫瘍補足精度を1.0mm未満で行い、洗練された繊細ビームにより副作用を究極まで抑えて、局所制御を十分に実現できる大線量を腫瘍にのみ照射することが可能です。患者の負担を大幅に軽減して、がん治療を遂行することができます。

処方通りの治療実現のために

医師が処方した線量が病巣に、的確に照射されるか線量分布検証を行ってから、治療を開始します。



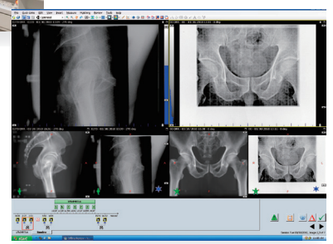
ポータル線量計システムを用いた線量分布検証



精度の高い治療を提供

診療放射線技師が治療位置を正確に合わせ、画像などで確認をしてから照射します。

治療は数分で終了し、痛みなどはありません。



オンボードエックス線画像装置により、治療直前に照射の位置を確認します。

開放的な環境の中で

閉塞空間に広がりとリラクゼーションをもたらす SKY FACTORY が患者をお出迎えいたします。

がんと戦う患者の気持ちを前に向かせ、心理・生理的な回復欲望を誘発させることに貢献いたします。

当センターでの放射線療法の適応

当院では、東京女子医科大学などから長年に渡り経験を積んできた放射線治療専門医の派遣と、実績のある医学物理士で、高精度治療を高い技術水準で受けていただくことができます。

乳癌、前立腺癌、脳腫瘍、肺癌、食道癌、頭頸部癌、直腸癌などのあらゆる悪性腫瘍の他、頭蓋内良性疾患（髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、脳動静脈奇形）にも対応いたします。